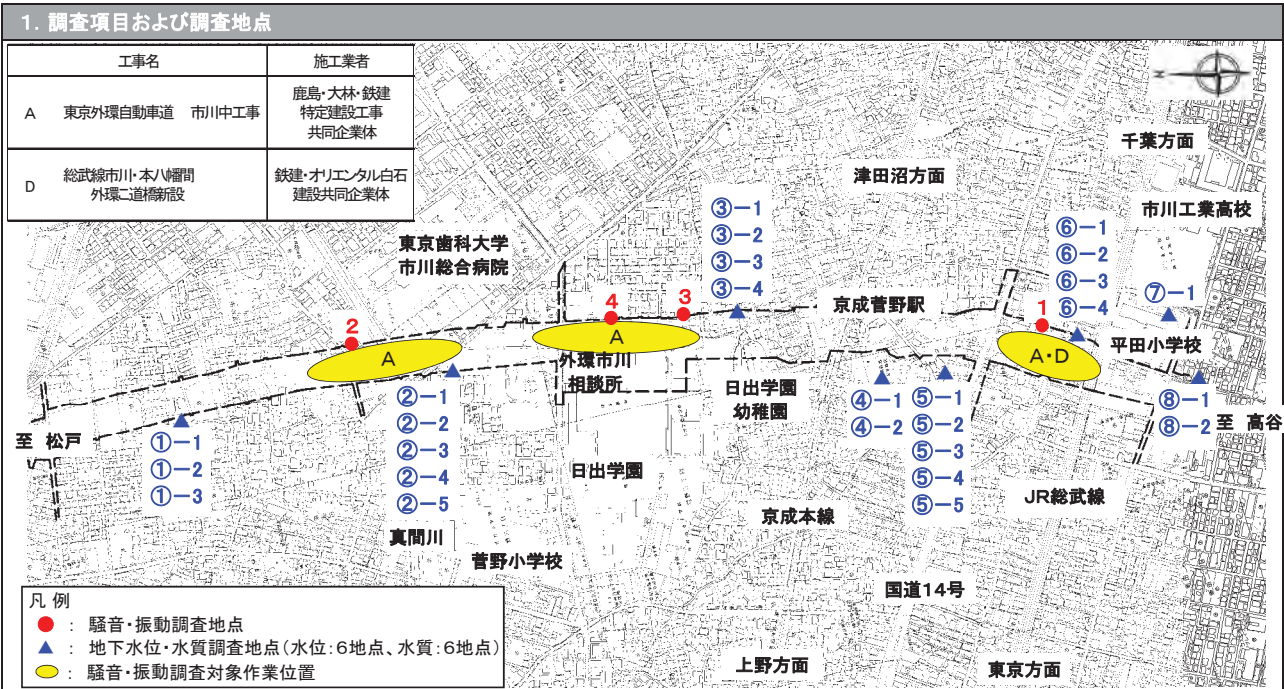


須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路(株)の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路(株)千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、1月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路(株)
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事	63	39	1月24日 昼間(8時~18時)
2		63	39	1月24日 昼間(8時~18時)
3		工事の稼働状況に合わせ、地点4にて調査を実施しました。		
4		63	37	2月7日 ※ 昼間(8時~19時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

※工事工程の変更により、1月の調査として実施

解説
 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(採水日:1月14日、15日、16日、19日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	8.0	8.1	8.1	7.2	7.7	8.0	8.2	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
pH	8.3	7.7	7.6	7.9	8.0	8.1	7.7	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
pH	7.9	8.0	9.1	7.1	7.7	7.5		
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

解説
 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

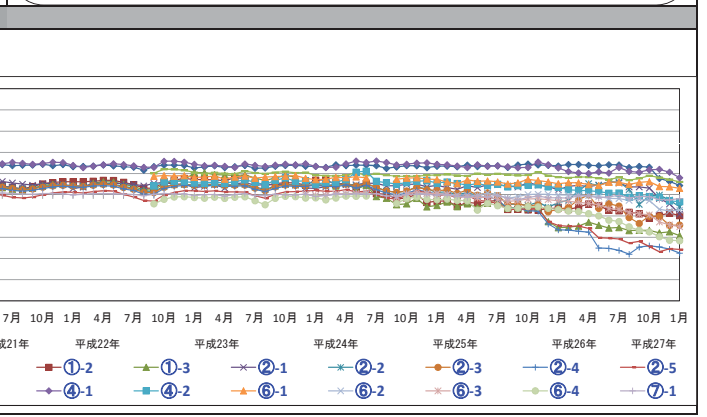
4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	月	①				②				③		④	
		①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	④-1	④-2	
H26	11月	1.54	-1.95	-3.59	-0.34	-0.02	-2.04	-4.91	-5.37	1.63	2.40	-0.24	
	12月	1.27	-1.72	-3.49	-0.84	-0.49	-2.87	-5.12	-5.09	1.44	2.13	-0.58	
H27	1月	0.88	-1.96	-3.85	-1.82	-1.12	-2.85	-5.49	-5.15	1.22	1.61	-0.64	
調査地点		⑥				⑦							
H26	11月	0.78	-1.37	-2.56	-3.95	-0.45							
	12月	0.76	-1.52	-2.83	-4.28	-0.48							
H27	1月	0.62	-1.44	-3.01	-4.33	-0.36							

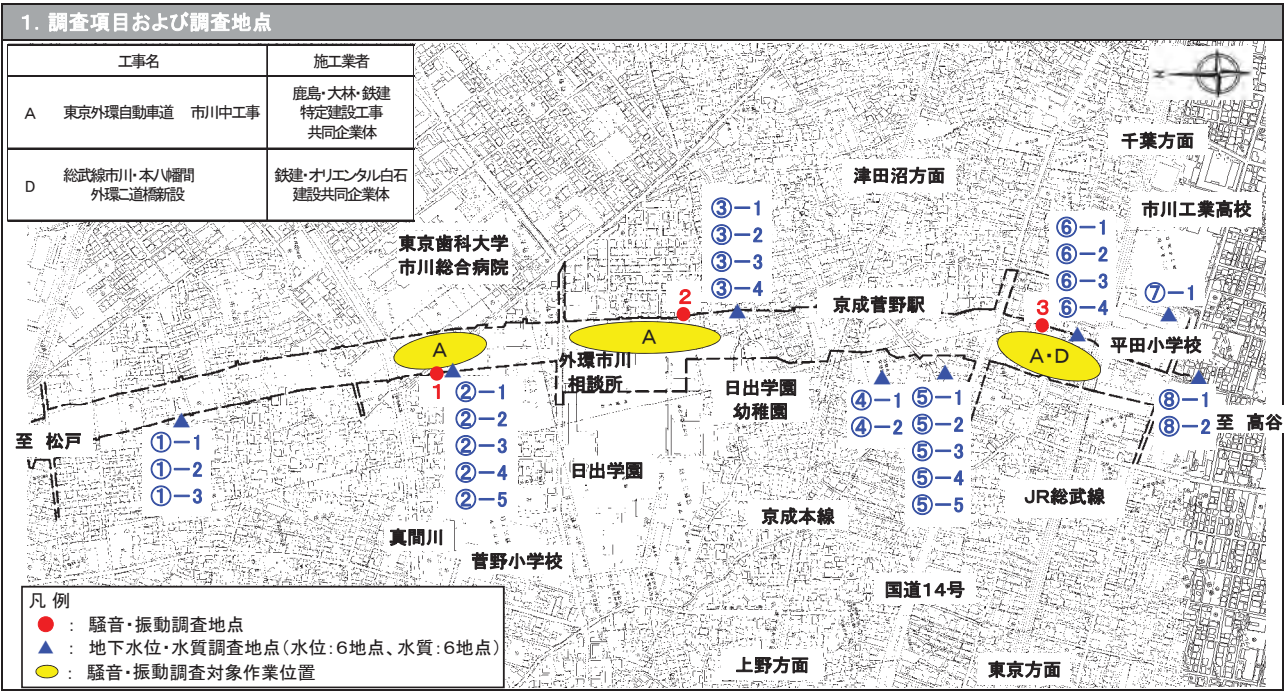
解説
 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路(株)の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路(株)千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、2月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路(株)
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事	59	43	2月23日 昼間(8時~17時)
		65	40	2月27日 昼間(8時~17時)
3	市川中工事 総武線市川本八幡間外環二道橋新設	63	51	2月17日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(採水日:2月9日、10日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	8.1	8.1	8.2	7.3	7.8	8.1	8.3	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
	②-5	③-1	③-2	③-3	③-4	⑤-1	⑤-2	
pH	8.4	7.9	7.7	8.0	8.1	8.2	7.8	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
	⑤-3	⑤-4	⑤-5	⑥-1	⑧-1	⑧-2		
pH	7.9	8.0	9.2	7.4	8.0	7.9		
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

解説

- pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

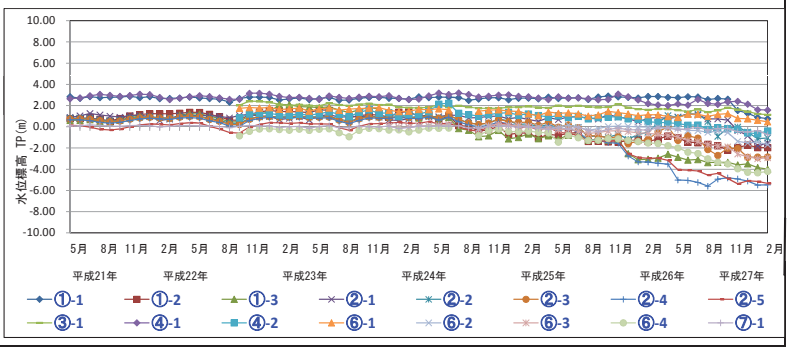
4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

調査地点	①				②				③				④			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	③-4	④-1	④-2	④-3	④-4	
H26	12月	1.27	-1.72	-3.49	-0.84	-0.49	-2.87	-5.12	-5.09	1.44	2.13	-0.58				
H27	1月	0.88	-1.96	-3.85	-1.82	-1.12	-2.85	-5.49	-5.15	1.22	1.61	-0.64				
	2月	0.77	-1.97	-3.99	-1.51	-1.05	-2.84	-5.47	-5.33	1.14	1.58	-0.39				
調査地点	⑥				⑦											
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑦-1											
H26	12月	0.76	-1.52	-2.83	-4.28	-0.48										
H27	1月	0.62	-1.44	-3.01	-4.33	-0.36										
	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74										

解説

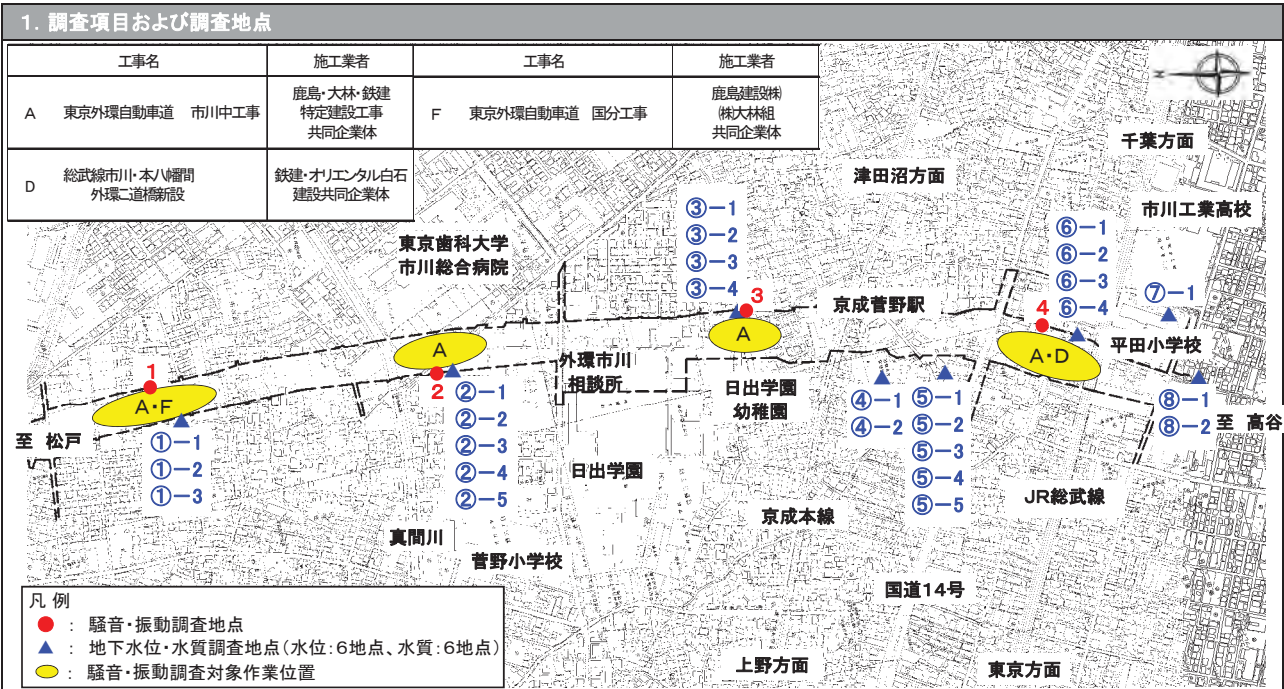
- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の3月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路(株)の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路(株)千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、3月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路(株)
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	国分工事 市川中工事	64	38	3月9日 昼間(8時~17時)
		58	40	3月26日 昼間(8時~17時)
3	市川中工事	64	36	3月31日 昼間(8時~17時)
4	市川中工事 総武線市川本八幡間外環二道橋新設	64	49	3月12日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水調査結果(採水日:3月10日、11日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	7.7	8.1	8.2	7.3	7.8	8.1	8.4	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
	②-5	③-1	③-2	③-3	③-4	⑤-1	⑤-2	
pH	8.3	7.8	7.7	8.0	8.0	8.1	7.9	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
	⑤-3	⑤-4	⑤-5	⑥-1	⑧-1	⑧-2		
pH	8.0	8.0	8.8	7.0	7.9	7.6		
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

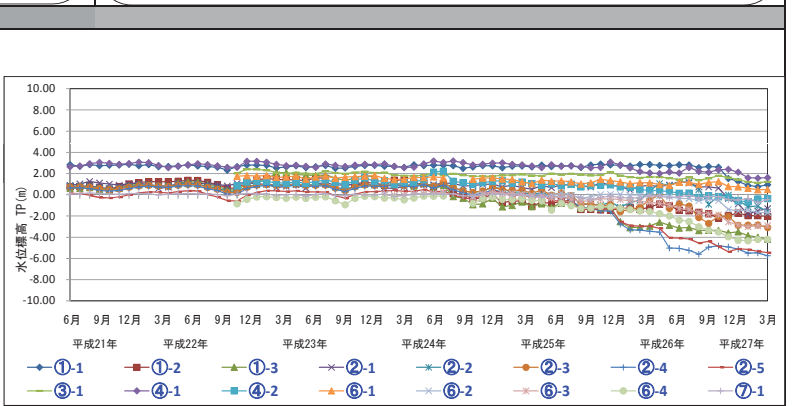
4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

調査地点	①				②				③				④			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	③-4	④-1	④-2	④-3	④-4	
H27	1月	0.88	-1.96	-3.85	-1.82	-1.12	-2.85	-5.49	-5.15	1.22	1.61	-0.64				
	2月	0.77	-1.97	-3.99	-1.51	-1.05	-2.84	-5.47	-5.33	1.14	1.58	-0.39				
	3月	0.95	-2.03	-4.17	-1.29	-1.61	-3.09	-5.74	-5.45	1.23	1.62	-0.34				
調査地点	⑥				⑦											
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑦-1											
H27	1月	0.76	-1.52	-2.83	-4.28	-0.48										
	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74										
	3月	0.50	-1.67	-2.90	-4.20	-0.45										

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



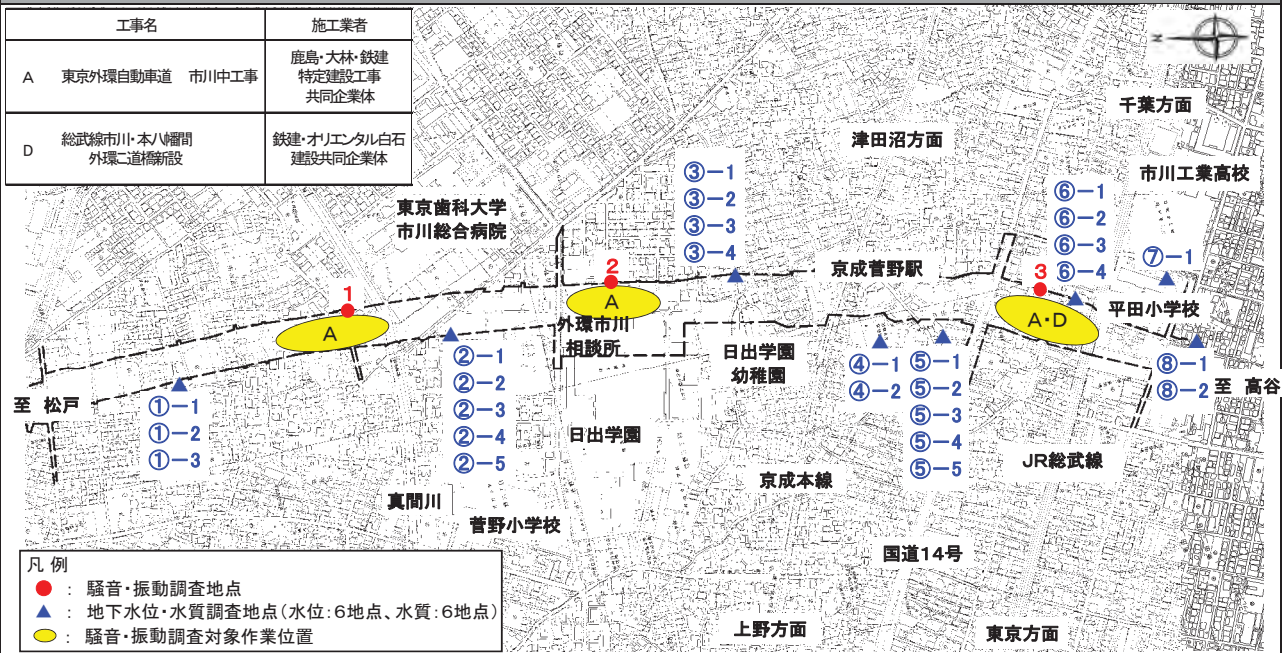
須和田・白幡・菅野・平田・新田地区の4月の調査結果のお知らせ

作成日 平成27年5月28日

平素は、東日本高速道路(株)の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路(株)千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、4月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路(株)
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	市川中工事	66	40	4月21日 昼間(8時~17時)
		68	37	4月22日 昼間(8時~17時)
3	市川中工事 総武線市川本八幡間外環二道橋新設	64	50	4月22日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		85	75	

解説
 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水調査結果(採水日:4月14日、15日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

調査地点	①				②			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	
pH	6.2	7.9	8.1	7.3	7.8	8.0	8.2	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	③				⑤			
	②-5	③-1	③-2	③-3	③-4	⑤-1	⑤-2	
pH	8.2	7.8	7.7	7.9	8.0	8.0	7.8	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	⑥				⑧			
	⑤-3	⑤-4	⑤-5	⑥-1	⑧-1	⑧-2		
pH	7.9	8.0	9.2	6.7	7.6	7.4		
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

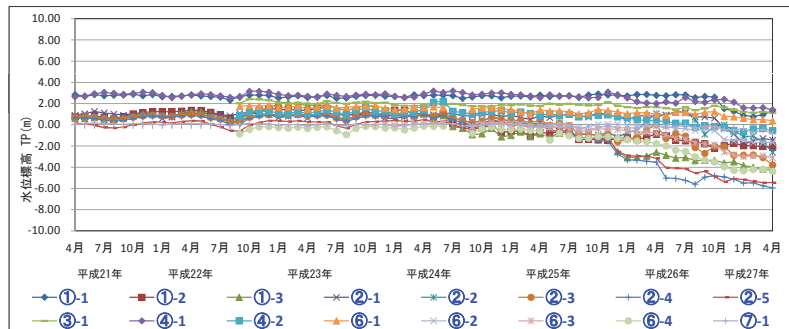
解説
 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

調査地点	①				②				③				④			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	④-1	④-2	④-3	④-4		
H27	2月	0.77	-1.97	-3.99	-1.51	-1.05	-2.84	-5.47	-5.33	1.14	1.58	-0.39				
	3月	0.95	-2.03	-4.17	-1.29	-1.61	-3.09	-5.74	-5.45	1.23	1.62	-0.34				
	4月	1.34	-2.10	-4.18	-1.44	-2.60	-3.79	-5.95	-5.45	1.14	1.42	-0.55				
調査地点	⑥				⑦											
	⑥-1	⑥-2	⑥-3	⑥-4	⑦-1											
H27	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74										
	3月	0.50	-1.67	-2.90	-4.20	-0.45										
	4月	0.38	-1.65	-3.11	-4.40	-0.83										

解説
 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

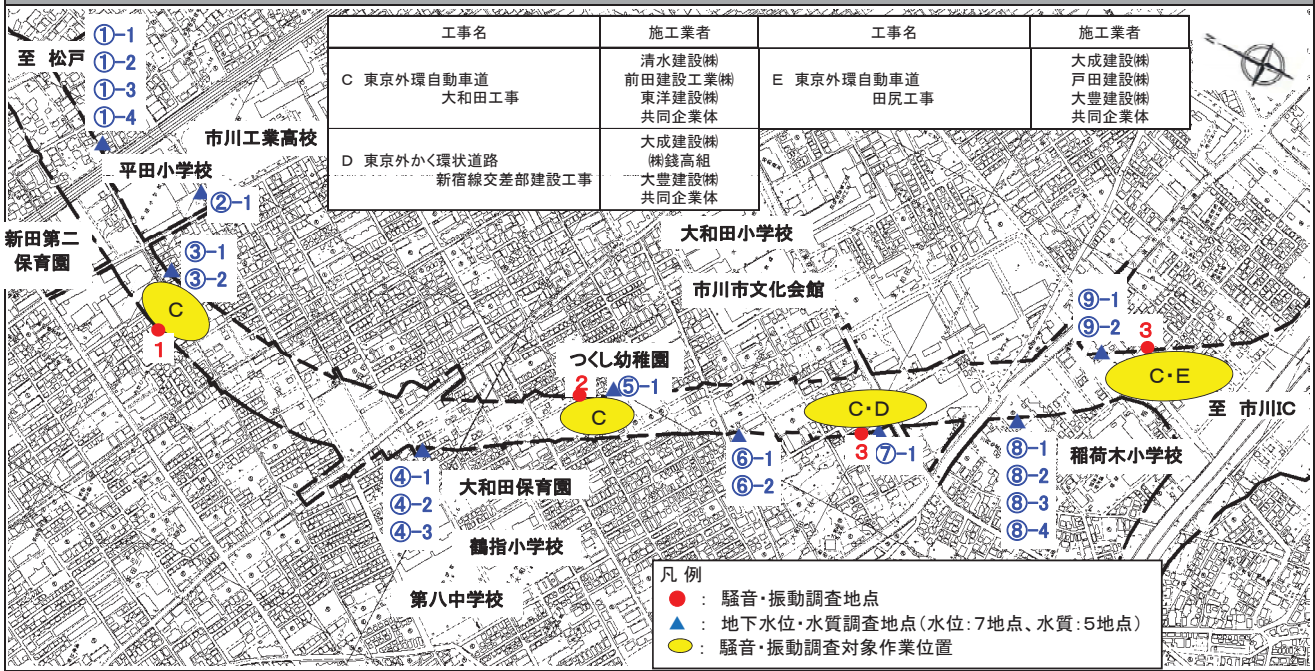


平田・新田・大和田地区の1月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等について
 の調査を毎月実施しております。
 そのうち、1月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	大和田工事	68	42	1月20日 昼間(8時~18時)
				1月24日 昼間(8時~21時)
2	大和田工事 新宿線交差部工事	59	44	1月22日 昼間(8時~17時)
				1月16日 昼間(8時~17時)
3	大和田工事 田尻工事	60	44	1月22日 昼間(8時~17時)
				1月16日 昼間(8時~17時)
4	大和田工事 田尻工事	65	41	1月22日 昼間(8時~17時)
				1月16日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水調査結果(採水日:1月16日、19日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①	③	④	⑤	⑥
	①-1	③-1	④-1	⑤-1	⑥-1
pH	7.1	7.7	7.5	7.1	7.9
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

調査地点	⑦	⑧	⑨
	⑦-1	⑧-1	⑨-1
pH	7.9	7.4	7.8
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

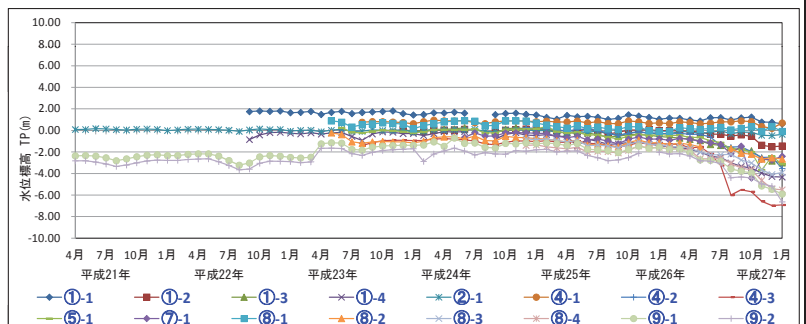
単位: T.P.m

調査地点	①							②								
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑦-1	⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4	⑨-1	⑨-2
H26	11月	0.78	-1.37	-2.56	-3.95	-0.45	0.36	-2.51	-6.57	-3.67	-2.66					
	12月	0.76	-1.52	-2.83	-4.28	-0.48	0.20	-2.49	-6.97	-2.41	-2.75					
H27	1月	0.62	-1.44	-3.01	-4.33	-0.36	0.69	-3.52	-6.91	-3.11	-2.40					

調査地点	③				④				
	③-1	③-2	③-3	③-4	④-1	④-2	④-3	④-4	
H26	11月	-0.09	-2.66	-3.67	-4.63	-5.15	-4.96		
	12月	0.34	-2.53	-4.08	-5.42	-5.46	-5.17		
H27	1月	-0.09	-2.65	-3.91	-5.51	-5.90	-6.63		

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

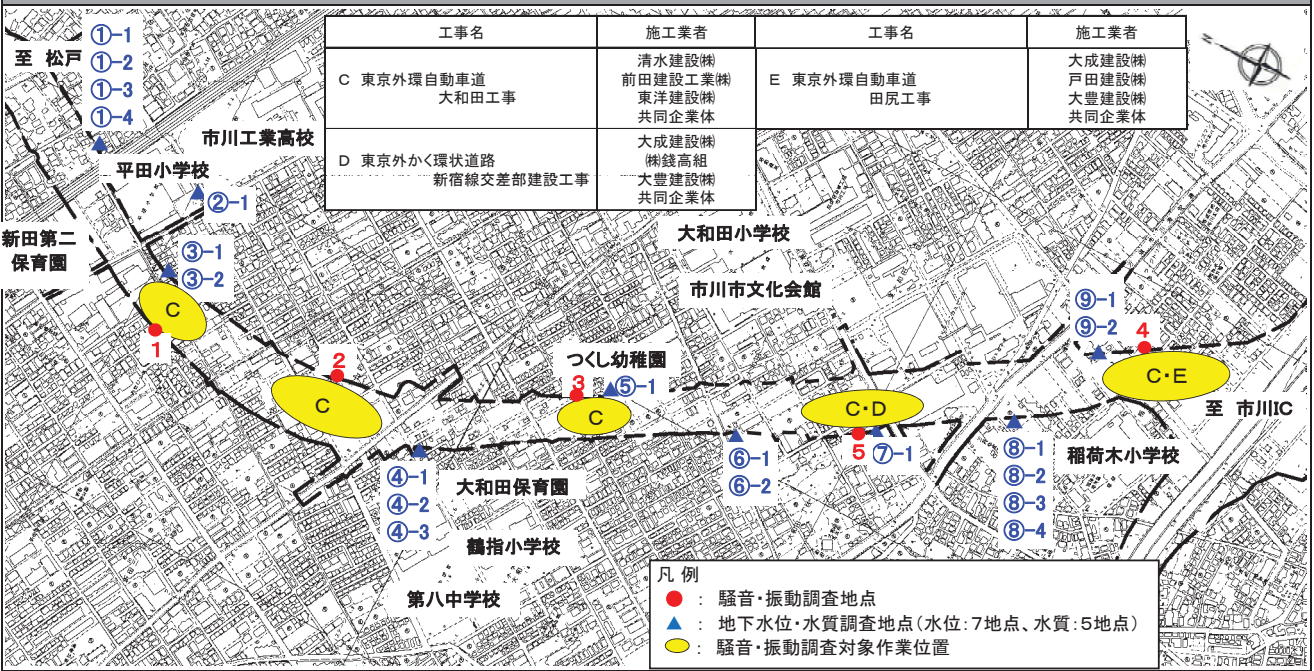


平田・新田・大和田地区の2月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工務事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、2月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工務事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	大和田工事	66	43	3月5日 昼間(8時~18時)
2		59	43	3月3日 ※ 昼間(8時~17時)
3		対象としていた作業は、実施されませんでしたので調査を行っておりません。		
4	大和田工事 田尻工事	65	42	3月4日 ※ 昼間(8時~17時)
5	大和田工事 新宿線交差部工事	66	46	3月2日 ※ 昼間(7時~20時)
法律による規制基準		85	75	

※工事工程の変更により、2月の調査として実施

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果(採水日:2月10日、12日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	① ③ ③-2 ④-1 ④ ④-2 ④-3 ⑥						
	①-1	③-1	③-2	④-1	④-2	④-3	⑥-1
pH	7.4	8.0	7.9	7.1	7.5	8.0	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

調査地点	⑥			
	⑥-2	⑧-1	⑧-2	⑧-3
pH	8.0	7.2	7.7	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

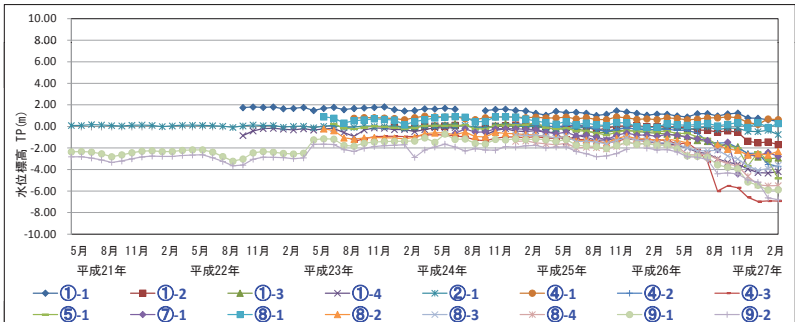
調査地点	調査月	① ② ④ ⑤ ⑦						
		①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	④-1	④-2
H26	12月	0.76	-1.52	-2.83	-4.28	-0.48	0.20	-2.49
	1月	0.62	-1.44	-3.01	-4.33	-0.36	0.69	-3.52
	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74	0.63	-3.69

調査地点	調査月	⑧ ⑨					
		⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4	⑨-1	⑨-2
H26	12月	0.34	-2.53	-4.08	-5.42	-5.46	-5.17
	1月	-0.09	-2.65	-3.91	-5.51	-5.90	-6.63
	2月	0.27	-2.31	-3.59	-5.49	-5.88	-6.80

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

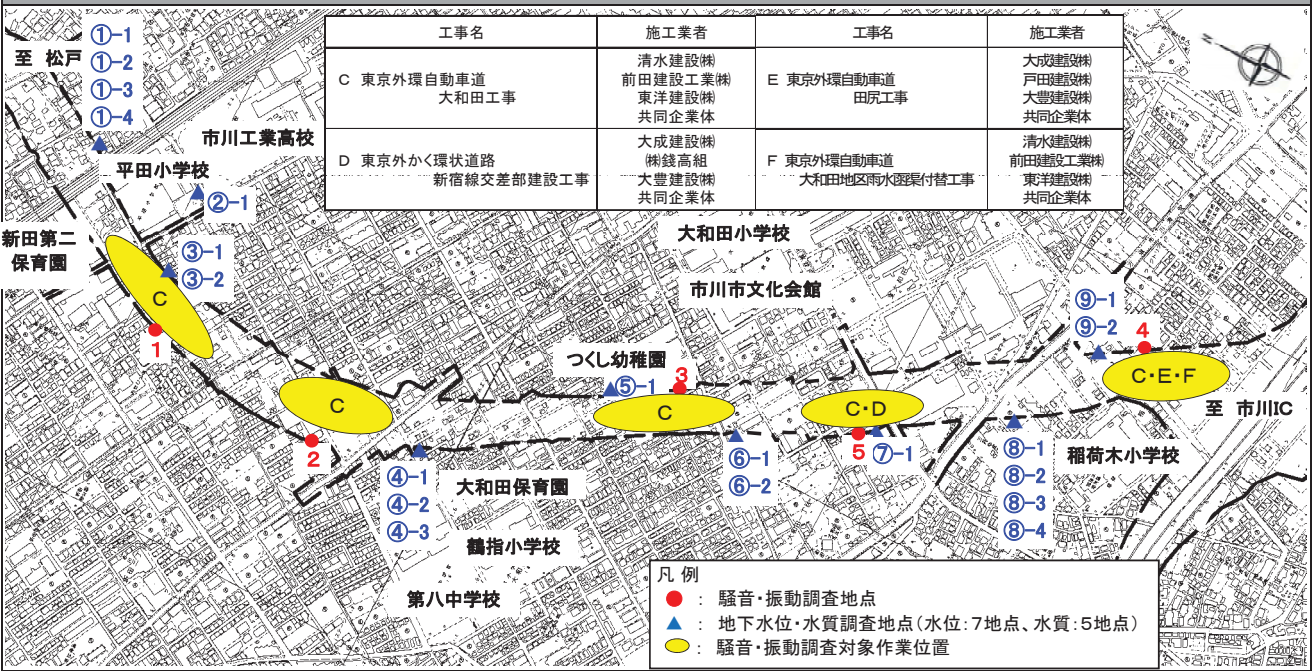


平田・新田・大和田地区の3月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社千葉工務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、3月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工務事務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	大和田工事	65	39	3月30日 昼間(8時~19時)
2		66	42	3月18日 昼間(8時~18時)
3	大和田工事 田尻工事 雨水函渠付替工事	68	49	3月31日 昼間(8時~19時)
4		63	38	3月17日 昼間(8時~17時)
5	大和田工事 新宿線交差部工事	64	45	4月1日 ※ 昼間(7時~19時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

※工事工程の変更により、3月の調査として実施
 解説 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水調査結果(採水日:3月10日、11日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①	③	④	⑤	⑥	⑦	
	①-1	③-1	③-2	④-1	④-2	④-3	⑥-1
pH	7.0	7.9	7.6	7.1	7.6	8.0	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
	⑧-2	⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4		
pH	8.0	7.2	7.7	8.1	7.7		
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		

解説 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/L以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

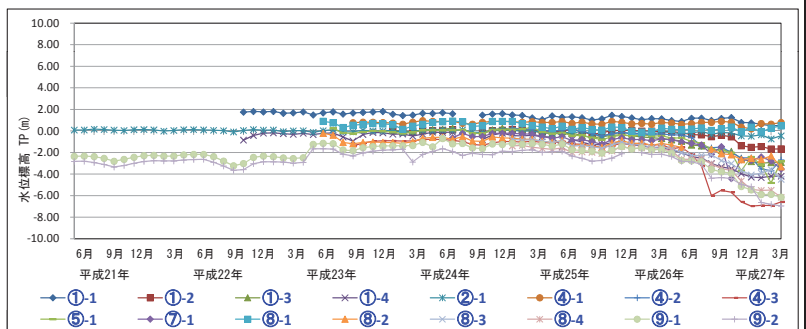
4. 地下水調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①							②		④		⑤		⑦	
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑦-1	⑦-2			
H27	1月	0.62	-1.44	-3.01	-4.33	-0.36	0.69	-3.52	-6.91	-3.11	-2.40				
	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74	0.63	-3.69	-6.92	-4.82	-2.78				
	3月	0.50	-1.67	-2.90	-4.20	-0.45	0.78	-2.68	-6.58	-2.83	-3.52				
調査地点	⑧				⑨		⑩		⑪		⑫				
	⑧-1	⑧-2	⑧-3	⑧-4	⑨-1	⑨-2	⑩-1	⑩-2	⑪-1	⑪-2	⑫-1	⑫-2			
H27	1月	-0.09	-2.65	-3.91	-5.51	-5.90	-6.63								
	2月	0.27	-2.31	-3.59	-5.49	-5.88	-6.80								
	3月	0.48	-3.32	-4.49	-6.15	-6.14	-6.96								

解説 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

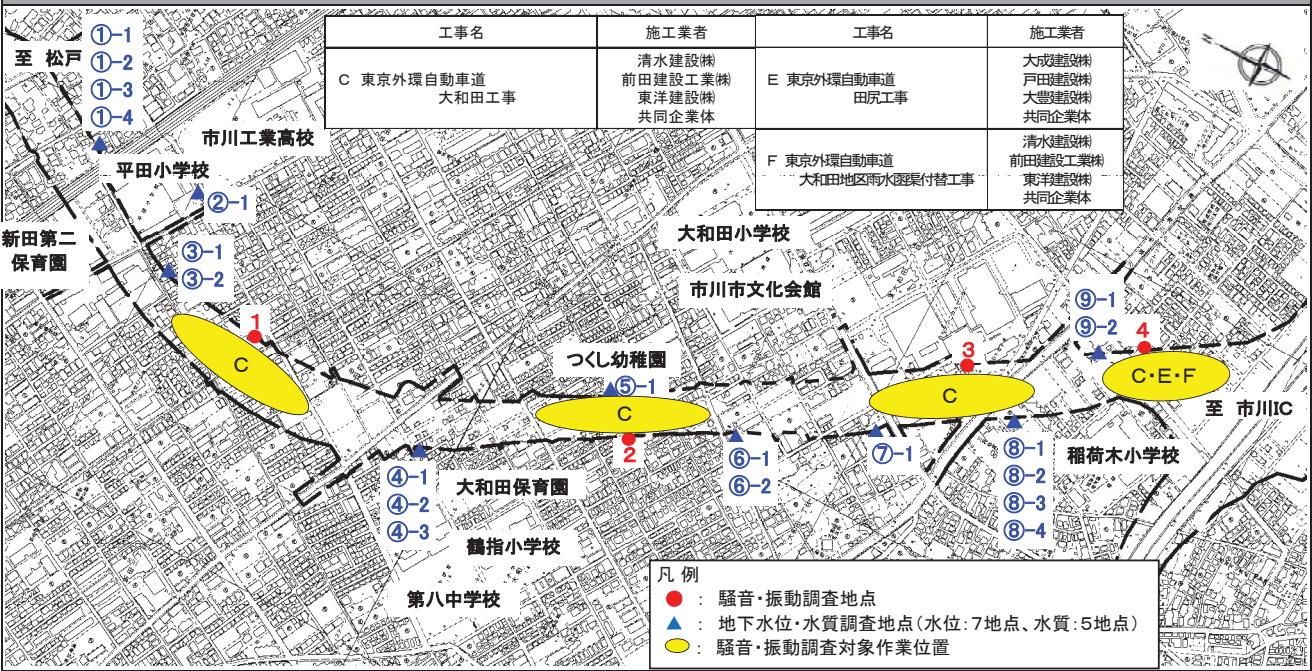


平田・新田・大和田地区の4月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事業務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。
 そのうち、4月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事業務所 環境技術課
 TEL:043-350-3342

1. 調査項目および調査地点



2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	大和田工事	64	41	4月23日 昼間(8時~17時)
2		64	42	5月1日 ※ 昼間(8時~18時)
3		60	46	5月1日 ※ 昼間(8時~17時)
4	大和田工事 田尻工事 雨水函架付替工事	63	33	4月28日 昼間(8時~19時)
法律による規制基準				
		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

※工事工程の変更により、4月の調査として実施

解説 ●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3. 地下水質調査結果 (採水日:4月14日、15日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①	③	④	⑥
	①-1	③-1	④-1	⑥-1
pH	6.7	7.6	7.4	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	②	⑤	⑦	⑧
	②-1	⑤-1	⑦-1	⑧-1
pH	8.0	7.1	7.5	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7程度が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/L以下とされています。また、「0.005未満」とは、六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4. 地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①							②		④		⑤		⑦	
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑦-1	⑦-2			
H27	2月	0.48	-1.67	-2.92	-4.20	-0.74	0.63	-3.69	-6.92	-4.82	-2.78				
	3月	0.50	-1.67	-2.90	-4.20	-0.45	0.78	-2.68	-6.58	-2.83	-3.52				
	4月	0.38	-1.65	-3.11	-4.40	-0.83	0.38	-3.00	-6.24	-2.60	-3.49				
調査地点	③				⑥		⑧								
	③-1	③-2	③-3	③-4	⑥-1	⑥-2	⑧-1	⑧-2							
H27	2月	0.27	-2.31	-3.59	-5.49	-5.88	-6.80								
	3月	0.48	-3.32	-4.49	-6.15	-6.14	-6.96								
	4月	0.41	-2.31	-2.19	-6.51	-6.30	-7.90								

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

